



例会日：水曜日
第1・第2 夜間・18:30～
第3・第4・第5 昼間・12:30～
例会場：華月殿 和歌山市屋形町2-10
事務局：〒640-8227 和歌山市西汀26 経済センター7F
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp
会長 津川善昭 幹事 溝落和作
クラブ会報委員長 溝落和作 副委員長 中岡隆文



本日の例会
10月15日(水)
華月殿 18:30～

ロータリー：奉仕の理想
行事：勝野ガバナー公式訪問
和歌山中 RC との合同例会

次回の例会
10月22日(水)
12:30～華月殿

行事：クラブフォーラム
米山記念奨学会委員会

先週例会報告

ゲスト 和歌山RC坂本順一様
ロータリー財団奨学生 ESSAYED RIM様
米山奨学生 姜学研様

会場監督 南 美和子

会長報告

津川善昭会長

和歌山RC坂本順一さんようこそ、本日はロータリー財団の国際親善奨学生フランスの FSSAYEORIMさんをお連れ頂きましてありがとうございます。ロータリー財団奨学金をお渡しいたします。米山記念奨学生 姜学研さんいらっしゃい 元気にやっていますか？奨学金をお渡しします。

次回の例会は、勝野露視ガバナー公式訪問、和歌山中ロータリークラブとの合同例会です、ご馳走&お酒準備しますのでどうぞお楽しみに！飲酒運転に気をつけてください！

今日の【例会に来てよかったで賞】は、北海道で買ってきました本場の【サッポロラーメン】です、抽選の結果和田 達男会員に当選！おめでとうございます。



幹事報告

溝落和作幹事

- ・地区外部広報で10月5日(日)サンケイ新聞和歌山版にRCの紹介記事が載っていますので一読下さい。
- ・ガバナーエレクト事務局がサイバーリンクス(現在の場所)に開設されました。
- ・旭学園より旭子供祭りの案内が届いていますので回覧します。
- ・(社)和歌山青年会議所より例会案内が届いていますので回覧します。
- ・愛徳園より愛徳祭開催の案内が届いていますので回覧します。
- ・自衛隊より防衛問題セミナー開催の案内が届いていますので回覧します。
- ・経済産業省よりベンチャー企業育成の案内が届いていますので回覧します。

ニコニコ箱

前田君・当クラブ藤永会員、近畿日本ツーリスト和歌山支店様のお世話になりました。
有本君・少しいいことがありました。
保田君・すみません。商用で早退させて下さい。
南君・山口会員大変お世話になりました。今後よろしくお願ひ申し上げます。

米山記念奨学会

竹中君・松浦さん、きれいな博多人形ありがとう。

ロータリー財団

中岡君・本日、卓話させていただきます。

東南育英会

平君・三崎先生、卓話ありがとうございました。

《委員会・同好会報告》

- *親睦委員長 松浦 薫
11月1日(土)「ルミス神戸2クルーズ」を行います。皆様のご参加よろしくお願ひいたします。
10月22日(水)までにお返事をお願い致します。
- *カラオケ同好会 楠本聖二
例会終了後にカラオケ同好会を開催します。
お時間のある方は皆様お誘い合わせのうえぜひ参加して下さい。
- *麻雀同好会 和田達男
第2回麻雀同好会を11月22日(土)12:00～。新和歌ロジにて開催します。見学の方もぜひご参加ください。皆さまのご参加 お待ちしています。



文化研修の為の国際親善奨学生(6ヵ月) リムエサイエド Rim Essayed (フランス) カウンセラー 松浦 薫会員
「日本語はあまりうまくないので勉強します。ロータリークラブに参加できてうれしいです。」

出席報告			出席者	出席率
会員総数	41名	10/8	33名	84.62%
出席免除会員	2名	9/17	33名	84.62%

クラブフォーラム『職業奉仕とは何か?』 職業奉仕委員長 中岡隆文



先日、9月14日地区クラブ職業奉仕委員長会議が泉大津のうお健ビルでございました。その時の、角谷（つのや）地区職業奉仕部門委員長様の『職業奉仕とは何か』の勉強会の内容をご報告させていただきます。今回は角谷委員長様がお書きになり、各クラブに3冊づつ配布されました『職業奉仕とは何か』という本の内容をご報告させていただきます。

1. 職業奉仕の誕生

まずは、職業奉仕を理解するうえで職業奉仕がどのように誕生したのかをご説明させていただきます。1905年2月ポールハリスを含む4人で誕生したロータリーは、当初、何でも相談できる友人を作り、それを取引に利用し、会員相互の互惠取引、相互扶助と親睦を目的としたものでした。当時の社会情勢は不安定で、親睦でつちかわれた信用できる仲間と取引が出来るということで、瞬間に会員が増加していきました。『クラブに入会できれば丘に儲けが出来る』という考えで入会した人が多かったようです。しかし『ロータリアンだけが儲かっている』との批判を内外うけ、社会奉仕や国際奉仕を中心とした時代へ変わり、物質的相互扶助は精神的なものに変わってきました。ただ、物質的扶助を廃止したならばロータリーへ入会したメリットが無くなり、会員減少にもつながりますので、アーサー・フレデリック・シェルドンによって発表された『He Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる)』という職業奉仕思想が誕生いたしました。

2. 職業奉仕の本質について

職業奉仕を理解するには『ロータリー運動は倫理運動である、ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあり』といわれております。

『職業奉仕』という言葉は『職業を営むことが、世のため人のためになる』という意味があります。この難解な言葉は「職業の心」と「奉仕の心」は『一つの心』であり、『世のため、人のために奉仕をする心を持って、職業を営むべし』という言葉で言い表されています。ロータリーは『職業倫理を追求する運動』であり、これが、『職業奉仕の本質』です。

3. I serve と We serve について

ロータリーの奉仕とは、個人の職業倫理に基づいて、その心を職業社会に実践するものであり、その方法として「社会奉仕」「クラブ奉仕」「国際奉仕」があります。ロータリー以外のほとんどの奉仕団体は「自分の職業で儲けたお金の一部を奉仕に使ってください。自分の時間の一部を使ってボランティア活動をしてください」という「弱者救済を持って奉仕をする」という奉仕理想です。彼らの思想には「個人の職業倫理」が含まれておらず、「奉仕の心」と「奉仕の心」は相反する心で、ゆえに「社会奉仕」のみを選択しています。よって彼らの標語は『Not I serve But We serve』です。

ロータリーの標語は『I serve』です。ロータリークラブとはロータリアンの集合体であり、奉仕の機会を与えるだけのものです。団体として活動するのではなく、個人の倫理に基づいて活動し、その集合体がクラブです。

4. He Profits Most Who Serves Best について

この言葉は、実践原理で精神論は含まれておりません。深川理論では『奉仕に徹するものには、最大の利益がある』とかかれております。

一番重要な意味を持つ「serves」とは売り手と買い手が互いに信頼と信用で結ばれ、継続的な利益を得られることです。「Profets」も継続的な利益を意味し、世のため人のために職業を通じて尽くした結果、報酬を得、その報酬を利益の適正配分の原則にて配分をしなければなりません。

しかし、RIでは「Service above seif」(超我の精神)のもと、「ロータリアンの金儲けを問題にするのはいかがなものか」「職業倫理を守るのは当然であり、わざわざそれを強調する必要がない」との理由で、この言葉に強い反発がありこのモットーを廃止しようと意見があります。

5. 職業奉仕と社会奉仕について

『社会奉仕』と『職業奉仕』の区別は受益者が誰であるかで区別することが出来ます。奉仕活動によって地域の人々、地域社会が受益者になる場合は「社会奉仕」です。そして自分がおこなった奉仕活動によって「自分自身」が受益者になる場合、これが「職業奉仕」です。『社会奉仕』と『職業奉仕』は一對のものであり、たくさん社会奉仕をすればするほど、地域社会から感謝と尊敬、信頼と信用を得て、自分の職業が繁栄するのです。

6. 例会出席と職業奉仕実践について

ロータリーは倫理運動であり、ロータリアンの心の開発です。ロータリアンが倫理を学ぶのが『例会』です。子供たちが学校へ通うのと同様に、ロータリアンは週に1回例会において倫理を勉強するのです。よって、職業奉仕の実践は毎週1回の例会出席から始まるのです。